

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 ごみ減量化推進事業（資源ごみの回収）
-------------------	---------------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	2	循環型社会の構築
小分類	1	廃棄物の減量
主要な施策	1	ごみの排出抑制の普及啓発とその実践強化
事務事業番号	003	事務事業コード 21211003 事業開始年度 平成 1 2 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	資源回収団体奨励金
------	------	------------	-----------

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室 環境対策 G
-----	-------	-------	--------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 町内会及び各種団体
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 地域の資源（紙、びん、金属、布類等）回収を円滑に進め、資源の再生利用の推進を図るため、資源ごみの回収事業によるごみ減量化の登録団体に資源ごみの回収量に応じた奨励金を交付する。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) ・再生可能な資源ごみ 年間約 1,900 トンを回収する。 ・市内町内会及び各種福祉・社会教育団体 99 団体登録
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	資源回収登録団体数	団体	目標値	99	95	95	95	95
			実績値	92				
	資源回収量	トン	目標値	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900
			実績値	1,577				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	4,730	5,550	5,460	5,460	5,460	16,380
合 計				4,730	5,550	5,460	5,460	5,460	16,380
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	793	831			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		793	831			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 登録団体の活動により、再生可能な資源ごみが、年間約1,800トン回収され、ごみの減量化と収集経費及び焼却費用の軽減となっているので妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 登録団体の収集活動が積極的に行われていて、年間1,800トンが再生利用な資源ごみとして回収されている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ クリーンリーダーや町内会役員の積極的な協力により可能。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 奨励金は収集量に応じていて、奨励金の単位当たりの額の減額は、登録団体の意欲低下を招く恐れがある。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	本事業の実施により、資源のリサイクル化の推進と市民のリサイクル意識の向上が図られる。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）